

広告

企画・制作 関東朝日広告社 群馬支店

Asahi Business Journal

社内会読会で本質教育

■「論語」「大学」テキストに
成電工業

成電工業(瀧澤啓社長)は儒教の根本文献「論語」「大学」などをテキストに使った「社内会読会」を実施している。「技能、技術を習得するより優先して本質的な教育を施したい」(瀧澤社長)との考えから毎月2回のペースで開催している。1回当たり5時間を充てている。



▲素読、講義、会読後、自分の考えを発表する

コンサルティング会社・企業100年計画(東京都)の市岡孝治社長を講師に迎え3年前から毎月第1、第3水曜の午後を実施している。参加しているのは同社の幹部社員4人。素読、講義、会読後、自分の考えを自由に討論している。

同社は来年、創立50周年を迎えるが、学び方の手法を習得してもらい、企業存続に結び付ける。瀧澤社長は「企業を存続することは生易しいことではない。「会読会」は人が育つ場づくりと考えているが参加者は役職に合った自覚が付いてきている」と話している。

同社は制御盤・動力盤の設計・製造や半導体製品加工などを手掛けている。最近はこの技術・ノウハウを基に開発した野菜栽培装置の販売にも注力している。

高崎市上豊岡町571-9
☎027-343-5111



を早急に進める。

☎027-219-3100

来年2月、本町アルフィーネ

老舗葬儀会社
のプリエッセ(竹内一普社長)は20年2月初旬、本町プリエッセ(高崎市本町)4階を家族葬専用ホール「本町アルフィーネ」としてリニューアルオープンする。宿泊可能な遺族・親族控え室を備え、収容人数は現2倍となる。

同社は今年3月、同社所目の自社ホール「石原エッセ・アルフィーネ」(石原町)を開設した。「アルフィーネ(Al Fine)」とはの音楽用語で「終わり」という意味。同社の小ホールに使用していく方本町アルフィーネが2カとなる。

本町プリエッセにはイ式場があるが、4階は昇働率が高い。これまでバヤードとして使用してい

プリエッセ